



AOCホールディングス株式会社
〒140-0002 東京都品川区東品川2-5-8
AOC Holdings, Inc.
5-8, Higashishinagawa 2-chome
Shinagawa-ku, Tokyo 140-0002, Japan

2008年8月21日

各位

会社名 AOCホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長 関屋 文雄
(コード番号 5017 東証第一部)
問合せ先 IR・広報部長 菊池 一夫
(TEL 03-5463-5065)

エジプト・スエズ湾ノースウェスト・オクトーバー鉱区開発移行について

当社石油上流事業子会社のアラビア石油株式会社(本社:東京都品川区、取締役社長:穂谷野一敏、資本金:130億円)は、エジプト・スエズ湾のノースウェスト・オクトーバー鉱区(添付図参照)における石油・ガス開発に関し、2005年7月にエジプト政府およびエジプト石油公社と生産分与契約を締結し、2006年9月に掘削した試掘1号井において原油の産出を確認した後、開発計画の策定ならびに開発移行のためのエジプト石油公社との協議を続けてまいりました。その結果、今般、エジプト政府石油省より本油田の開発につき正式承認を得ました。これを受け、同社は、本プロジェクトに着手するに当たっての最終判断を行うため、生産施設の基本設計等検討作業を開始いたしました。同作業は本年末までに完了の見込みであります。なお、原油生産開始時期につきましては、2010年度前半を目指しております。

また、開発への移行に際しましては、今後の他の案件の可能性を念頭におき、資金の効率的活用の観点から、他のパートナーと必要資金を分担し共同で本プロジェクトを進めるべく、当該鉱区の権益の一部を他社に譲渡(ファームアウト)することを決定いたしました。この決定に基づき、石油開発コンサルタントである英国ステラ・エナジー社を起用してファームアウト先の選定を進めていたところ、今般、エジプトに本拠を置くPico International Petroleum社をファームアウト先として選定し、同社と50%の権益につき権益譲渡契約を締結いたしました。その結果、権益保有比率は50:50となりますが、アラビア石油が引続きオペレーターとして本プロジェクトを推進してまいります。なお、Pico International Petroleum社は、エジプトにおいてオペレーターシップを有する鉱区を含め複数の鉱区の権益を保有する石油開発会社であり、本プロジェクトのパートナーとして、同社のスエズ湾における多くの経験・知見が生かせるものと考えております。

以上

ノースウェスト・オクトーバー鉱区位置図

